

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	2024年6月7日(金)
クラス名(年齢)	ぶどう組(5歳児)
年間テーマ	自然

1. 活動のテーマ

<テーマ>

お米づくり①

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

- 毎年お米と小麦の成り立ちについて話をしているが、今年はお米が苦手な子が多かったこともあり、お米を自分たちで作ってみようという話になった。

2. 活動スケジュール

- 普段何気なく口にしているお米が、どのようにできているのか、実際に田植えから稲刈りを体験し、食べ物大切さを知る。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定


- 田んぼ
- 靴
- たらい
- タオル

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- 田んぼで行う。
- お米の育ちについて話をする。
- 稲を一束ずつ手に取り、場所を確認しながら植えていく。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none">• 田んぼに入り泥を手にとって 「柔らかいね」 「こっちはちょっと深いよ」 と感触を味わっていた。• 泥に足がはまってしまい、友達の肩を借りたり、手を繋いだりして助け合う姿も見られた。• 苗を植えながら 「これがお米になるんだね！」 「ごはん食べるの楽しみだね」 とお米の収穫を楽しみにしている姿も見られた。	

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

初めは泥に入ることに抵抗感がある姿も見られたが、一度入ると気にならなくなったようで、お尻が水面につくのも気にせずしゃがみこんで田植えに夢中になっている姿も見られた。何度もやっていくうちにどんどん植えるのが上達し、余裕も出てきて「たのしいね」「またやりたいね」と話していた。

「これがお米になるんだね」「はやく食べたいね」と自分たちが田植えした苗の収穫を待ちわびている様子だった。

散歩の際田んぼを見に行くなどして苗の成長を観察していきたい。